

令和7年度第1回吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館運営協議会 議事要旨

開催概要

- ◇日時 令和7年6月25日(水)午後7時から午後8時30分まで
- ◇場所 子育て青少年拠点夢つながり未来館 4階多目的会議室
- ◇出席者 神戸委員・谷村委員・田尻委員・杉山委員・重見委員・佐藤委員・福田委員・橋本委員・福岡委員・豊田委員・本田委員・市場(千嘉子)委員・古田委員・佐野委員(14人)
- ◇傍聴者 なし

議題

- 1 令和6年度夢つながり未来館利用状況について…資料1～6
- 2 各委員会からの報告及び意見交換について…資料7
- 3 その他
- 4 次回開催日について

資料

- (1) 令和6年度夢つながり未来館利用状況(前年度比較)
- (2) 令和6年度夢つながり未来館事業報告
- (3) 令和6年度青少年活動サポートプラザ事業報告
- (4) 令和6年度青少年活動サポートプラザ事業一覧
- (5) 令和6年度のびのび子育てプラザ事業報告
- (6) 令和6年度山田駅前図書館事業報告
- (7) 令和6年度青少年委員会事業報告

議事要旨

1 令和6年度夢つながり未来館利用状況について…資料1～6

事務局から、資料を基に令和6年度夢つながり未来館利用状況について説明を行った。委員から出された意見・質問の概要は以下のとおり。

◇青少年相談について(質問) …資料1

委員 相談統計について、相談対象者の年齢層を教えてください。また、前年度以前と比較し、主訴別では「性格・対人関係」及び「精神疾患」の増加が目立っていますが、相談内容の変化に伴う新しい課題があれば教えてください。

事務局 年齢層について、新規相談件数では16歳～19歳が最も多く、20代、13歳～15歳と続きます。また、新規を含めた全体の件数では、20代が最も多くなっています。

主訴別で「性格・対人関係」及び「精神疾患」の件数が年々増加していることについて、発達障害が関連していると分析しています。精神保健福祉士の資格を有する相談員が在籍していることから、専門的な対応は可能であると考えていますが、大きくなってから気が付くのではなく、できるだけ早い段階で発見し、関係機関で連携して対応していく必要があると考えています。

◇アウトリーチ(訪問支援)について(質問) …資料3

委員 アウトリーチにおける具体的な対応について教えてください。

事務局 不登校やひきこもりなどで外出できない青少年の保護者が相談される場合は、対象者の家で話を伺います。その際、対象者本人には直接会えなくても家で話をすることで、対象者本人が自分自身のことで動きがあると感じ、何度も足を運ぶことで対象者が少しずつ心を開くきっかけになっています。また、病院の受診や行政手続への同行支援も行っております。

◇一時預かり保育について(質問) …資料5

委員 令和5年10月に開始した佐竹台地域交流室おひさまルームにおける一時預かり事業の利用率について教えてください。

事務局 佐竹台地域交流室おひさまルームについて、週2回午前中のみ開室であること及び利用の周知が行き届いていないことから、利用率については50%に満たないという状況です。利用申込後、当日体調不良でキャンセル等もあることから利用率が100%にはならない事業ですが、より多くの方に利用いただけるよう周知を行いたいと考えています。

◇5歳児の利用について(質問) …資料5

委員 のびのび子育てプラザにおける令和6年度の一時的保育利用者について、5歳児の利用者数が15名となっています。保育園や幼稚園を利用される方が多い年齢ですが、どのような世帯が利用されていますか。

事務局 転居後、保育園や幼稚園に通園されるまでの間に利用されるケースや、幼稚園に通園されている方が夏休み期間のみ利用されるケースがあります。

◇児童会館等における中学生受入れの影響について(質問)

委員 今年度、児童会館等が中学生の受入れを開始しましたが、児童会館等の利用率や青少年活動サポートプラザへの影響について調査するのはいかがですか。

事務局 児童会館等における中学生及び高校生の一部受入れにあたり、児童会館等の職員向けの研修を青少年活動サポートプラザで実施しました。不登校の方の居場所がテーマにもあり、そのような方が来館しやすくなるにはどうすればよいか、また、中学生の利用状況の変化については今後も注視していきたいと考えています。

◇中学生の状況について(意見)

委員 発達障害については、発達障害の生徒に対して周囲の生徒も「こういう子」であると地域の仲間として受け入れ、中学校を卒業します。周囲の生徒が発達障害の生徒に対する接し方を学び成長して卒業していると感じ、そこが地域の学校の良さでもありますが、中学校の教員としては発達障害の生徒が卒業後に初めて他人とぶつかってしまうことでひきこもりにならないかという思いがあります。

不登校については、教室に通えない生徒が校内の別の教室に通う「校内支援教室」を市内全中学校で設けています。校内支援教室については、午前中のみ開室の学校もありますが、西山田中学校に関しては生徒がいつ来てもよいように1時間目から6時間目まで教員を配置しています。また、中学校では不登校対策委員会を週1回実施し、生徒の出欠状況や活動内容についてスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを含めて共有しています。

部活動については、市内において8割の生徒が部活動に参加している中、部活動の外部委託を昨年度から実施し、西山田中学校については令和7年4月から11部活中5部活が外部委託の対象となっています。

夢つながり未来館における中学生の利用については、塾や部活動への参加により少なくなるのは仕方がないと思いますが、中学校卒業後の救いの場になっていると伺っています。

◇地域の居場所について(意見)

委員 太陽の広場を見ていると、発達障害の児童との関りが難しいと感じますが、スタッフやブロックアドバイザーの先生と相談しながら地域でも取組を進めています。また、自宅の近所に児童会館等がありますが、中学生の利用もあり、小学生と楽しく遊んでいるようで、地域に中学生の居場所ができてよいなと思っています。

◇吹田くわいの収穫体験・試食について(質問) ……資料2

委員 全館イベントである「ゆいびあのお正月あそび」における吹田くわいの収穫体験・試食について、どのように実施されたのでしょうか。

事務局 収穫体験については、土を入れたトロ箱に吹田くわいを埋め、参加者に掘っていただく形式で実施しました。

試食については、収穫用の吹田くわいと別に吹田くわいを用意し、収穫体験を終えた方に調理室へ移動いただき、素揚げした吹田くわいを提供する形式で実施しました。

◇重層的支援体制整備事業について(質問)

委員 令和7年4月から重層的支援体制整備事業が開始となりましたが、現時点で実績等がありますか。

事務局 青少年室では職員1名が受け止め隊となっています。受け止め隊としての実績については、現時点で1件となっています。当該ケースでは39歳までの方が世帯に含まれるとのことで声がかかりましたが、今後同様のケースが増加するものと考えています。のびのび子育てプラザでも、職員が1名受け止め隊となっています。現時点では他機関と連携したケースは発生していませんが、家族間の意見の相違や子育て以外の悩みを相談される方がいらっしゃるため、今後連携していきたいと考えています。

2 各委員会からの報告及び意見交換について……資料7

各委員会から、資料を基に令和6年度の委員会報告を行った。委員から出された意見・質問の概要は以下のとおり。

◇吃音の理解を広める事業について(質問)

委員 イベントについて、詳しくお聞かせください。

事務局 吃音当事者である青少年委員をはじめ、吃音当事者である青少年がイベントスタッフとなり、カフェや工作、スポーツ、お菓子作りなどのイベントを実施しました。イベントの冒頭において吃音の特性について説明を行い、イベントを通してコミュニケーションをとることで吃音への理解を深めました。ご家族とイベントに参加した吃音当事者の小学生からは、次回も参加したいと希望がありました。

◇青少年委員会の報告について(意見)

委員 青少年委員会の取組として知名度の向上やイベント数の増加等、努力されていると思う一方で、イベント屋さんになってしまっただけでは残念であると感じます。実績の報告のみですともったいないほどに頑張っているから、どのような達成感や充足感を感じているのか、イベントに参加された子供達とどのように繋がっていったのかについても報告に含めていただくと嬉しく思います。

◇青少年委員の確保と委員会の現状について(質問)

委員 青少年委員を確保することは大変であると思います。定例会議についても参加者が集まりにくいようですが、青少年委員会の現状について教えてください。

事務局 青少年委員会への参加のきっかけについては、館内掲示ポスター及び施設職員による声掛けが主となっています。何年にもわたり継続的に活動している委員がいる一方で、学校やアルバイト、仕事が多忙となり参加頻度が減少する委員もいるのが現状です。

定例会議の参加者については、委員の総数と比較して少なくなっていますが、会議への参加は難しくとも、イベントには運営スタッフとして積極的に参加する委員もいるなど、様々な形で活動いただいています。

また、高校生の委員が他県の大学へ進学したことを契機に、オンラインを併用した定例会議を実施しました。

◇青少年委員会におけるイベント以外の活動について(質問)

委員 青少年委員会の定例会議の内容について、イベントの企画に関することが主になっていますが、研修等についても実施してはいかがでしょうか。

事務局 過去に実施した研修として、イベントの企画及び運営における、安全面での配慮や参加者の年齢に応じた楽しませ方をテーマにしたものがあります。今後、他の研修についても検討できればと考えています。

3 その他

なし

4 次回開催日について

◇次回の運営協議会について

日程:令和8年2月(令和7年 11 月頃に確定のうえ、通知予定)